

# 大野市説明資料について

---

令和3年4月20日

石山大野市長 提出資料

2021.4.22 (THU) NEW OPEN



道の駅

越前おおの荒島の郷

Echizen Ono Arashima no Sato



人口: 32,083人 (R3.4.1)  
土地利用: 市域の約87%が森林

第2回

国・地方脱炭素実現会議  
大野市説明資料

2021年4月20日

## ごみ処理エネルギー等の有効利用(H18～)

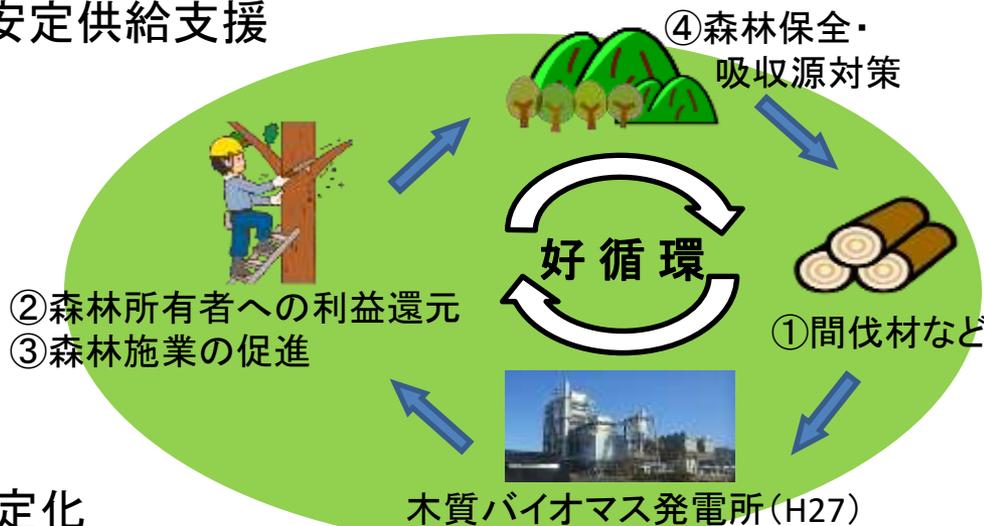


【課題】施設の長寿命化、エネルギーセンターとしての機能強化(更新時)

## 未利用系木質バイオマス活用によるCO2吸収源対策(H27～)

### ◆木質バイオマス発電所への間伐材等の安定供給支援

- ⇒①間伐材等の安定供給
- ⇒②森林所有者への利益還元
- ⇒③森林施業の促進
- ⇒④森林保全、CO<sub>2</sub>吸収量増大



【課題】主伐期を迎えた森林の伐採と再造林

木材の出口確保による林業経営の安定化

⇒都市部等での流通販路の確保、地域の工務店の事業継承に期待

# 大野市の取組(R3～)



## 脱炭素人材の育成

エコ落語



楽しく学ぶ



庁内PT結成



地域人材育成・連携

【課題】

- ・市民等へのわかりやすい説明や工夫
- ・人材、ノウハウ等の不足

⇒人材派遣・情報提供等に期待

## ごみの減量化

- ◆生分解性マルチの利用促進

上庄さといも(GI認証)



化石燃料由来の農業用マルチの廃棄作業削減

→人口減少、高齢化を見据えた

農作業の省力化

→脱プラスチック

同時解決!!

## 公共施設の脱炭素化

- ◆設備老朽化・多量CO<sub>2</sub>排出施設を優先  
(例 温浴施設、図書館、公民館など)

積雪課題

STEP① 設備更新(省エネ化)  
STEP② 再エネ導入  
STEP③ RE100電力への切替  
→市内横展開  
→ランドマーク化

【課題】既存施設を有効利用して脱炭素化を図るには、一定期間と費用が必要。

積雪など地理的・気象的条件に合った再生可能エネルギーの検討が課題。

⇒ステップに合わせた包括的かつ継続的な財政支援、  
地域特性に応じたきめ細やかな支援メニューに期待

- 人材、ノウハウ、資金等の不足
- 自分事として捉えにくい自然環境にある
  - ※既存再エネ・森林吸収に貢献しているという意識
- 先行導入例の当てはめが難しい
  - ※地域課題は自治体により千差万別



全国津々浦々に脱炭素ドミノを展開するには。。。。



様々な地域課題を踏まえた先行事例づくり、  
地域課題に応じた国の積極支援に期待